

# 公益社団法人計測自動制御学会 2019年度（平成31年度）事業計画書

公益社団法人第9期 通算第58期  
2019年（平成31年）1月1日～12月31日

## 目 次

I. 2019年度事業計画	
1. SICE ミッションと事業計画（2019年） .....	1
II. 2019年度事業計画付属明細書	
1. 単年度事業計画（2019年） .....	2

# SICE®

2018年（平成30年）12月

公益社団法人計測自動制御学会

東京都千代田区神田小川町1-11-9 金子ビル4階

電話 (03) 3292-0314

FAX (03) 3292-3145

URL <http://www.sice.jp/>



# I. 2019年度事業計画

## 1. SICE ミッションと事業計画 (2019年)

2018年度に理事会で策定された「SICE ミッションと事業計画 (2019年)」を以下に示します。

### SICE ミッションと事業計画(2019年) 企画委員会 2018-12-25

ミッションステートメント	
計測・制御・システムの中核学会として、 ①諸分野を横断して知を究め、新しい価値を創造し、 ②関連分野・産学官のハブとなり、発信・連携することで、 社会的課題の抽出・解決に貢献する。	
<b>社会貢献:</b> 計測・制御・システムに関する学術及び技術の進歩発達を図り、文化の向上並びに産業の発展に寄与する。そのために、国内外の若手人材を育成し国際的に卓越した成果を創出/提供し続ける場を構築するとともに、分野横断を推進し新たな価値を創造する。	<b>会員への貢献:</b> 計測・制御・システムに関わる会員の分野横断的な活動を支えるために、専門性深化と知的創造、情報の発信と交換、学術体系化、産学官連携推進などを効果的に実現できる場を提供する。
<b>国際貢献:</b> Annual Conference (AC)開催や英文論文誌発行を中心に、アジアそして世界における計測・制御・システム分野の研究・技術の発信と提案を進める。さらに標準化の推進において国際的役割を果たす。	<b>学協会組織への貢献:</b> 国内外の学協会連携組織および連携活動に参加し、関連学術・技術分野の縦横断的な連携の強化に取り組む。

基幹事業	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ Annual Conference(AC)開催</li><li>・ 部門主催講演会、支部主催講演会等の開催</li><li>・ 部門・支部内各種事業および研究会活動</li><li>・ 各種セミナー・展示会・見学会開催</li><li>・ 関連国際会議、国内会議、展示会の共催・協賛</li><li>・ 国内外学協会・工業会等との連携</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学会誌、論文集発行</li><li>・ web等による情報発信</li><li>・ 技術者教育と資格認定</li><li>・ 標準化活動</li><li>・ 各種学会賞贈呈</li><li>・ その他</li></ul>

中期的課題
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 支部再編によるサービスの拡大とインセンティブ見直しによる部門活動の強化</li><li>・ 新たな社会に向けたSICEが提供する価値領域の見直し（「なにを」「なぜ」「どのように」）</li><li>・ Webやイベントを活用した学会活動の見える化と情報発信の多様化によるSICEの社会に対する貢献の周知</li><li>・ 英文論文集およびACへの海外からの論文投稿および参加者の拡大による真の国際性獲得</li><li>・ ACの定期的海外開催およびSICEに密接に関連する重要国際会議への積極的支援（アジア諸国との組織的連携によるプレゼンス向上）</li><li>・ 企業（賛助会員等）を対象としたイベント開催による企業技術者教育と情報発信強化、非会員に向けた情報発信</li><li>・ SICEの事業および業務の適正化による収支改善</li><li>・ "SICE人材像"の再定義と社会と繋がる人材の育成</li><li>・ AI, IoT, ビッグデータ等新しい技術に関するSICE企画</li><li>・ 計測・制御・システムの学術分野としての参照基準の検討</li><li>・ SICE60周年記念事業（2021年）の実施</li></ul>

2019年度事業計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 支部再編に向けた意向調査に基づく協議と部門へのインセンティブルールの見直し（部門、支部、財務）</li><li>・ 新たな付加価値領域を探るための部門横断による作業部会の推進（企画委）</li><li>・ Society5.0におけるSICEの役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による、メーカー、サービス、ユーザ企業さらに異業種を含む社会への情報発信（部門、支部、会誌委、AC委）</li><li>・ プロセス塾の成功事例をモデルに、AI/IoT/ビッグデータ塾（仮称）を企画（教育委）</li><li>・ 発信力強化のためのホームページの継続見直しと魅力を高めるコンテンツの充実とSICE事業番号付与（事業委）</li><li>・ 英文論文集の国際的評価基準（ESCI, Citation Index等）獲得へ向けた活動の継続（論文委）</li><li>・ 和文論文誌と英文論文誌の位置づけおよび編集方針の見直しによる投稿数拡大（論文委）</li><li>・ SICE2019（広島）での国際化推進イベントの企画（AC委）</li><li>・ AC（SICE2020）のタイ開催に向けた準備（AC委）</li><li>・ IMEKO2021、IROS2022、IFAC2023の開催推進（国際委）</li><li>・ SICE2019（広島）に向けた広報、および日本語WS併設による企業が集まるセミナー企画（AC委）</li><li>・ 直轄、部門、支部および事務局の業務見直しと効率化の推進（総務委、財務委）</li><li>・ 部門と支部を中心とした会員情報DBの整備による会員管理及び会員数拡大（部門、支部）</li><li>・ SICE人材像の見直し（企画委）</li><li>・ Y60（SICE60周年記念事業）準備委員会の推進（総務委）</li></ul>

## Ⅱ. 2019年度事業計画付属明細書

### 1. 単年度事業計画 (2019年)

各委員会、部門、支部が策定した「2019年度計画（・実施報告）」を以下に示します。

番号	組織名	担当理事、部門長、支部長
01	総務委員会	業務執行理事 山田(隆)委員長、藤本副委員長
02	財務委員会	業務執行理事 山中委員長、後久副委員長
03	企画委員会	業務執行理事副会長 榎木委員長
04	学会賞委員会	業務執行理事副会長 小林委員長
10	会誌出版委員会	業務執行理事 安井委員長、尾形副委員長
11	論文集委員会	業務執行理事 早川委員長、 山下副委員長(和)、尾川副委員長(英)
12	Annual Conference (AC) 委員会	業務執行理事 劉委員長
13	国際委員会	業務執行理事 山田(功)委員長、安藤副委員長
14	国際標準化委員会	業務執行理事副会長 榎木委員長
15	事業会員サービス委員会	業務執行理事 青田委員長、茂森副委員長
16	教育・認定委員会	業務執行理事 橋本委員長
30	部門協議会	業務執行理事 藤田議長、田中(仁)副議長
31	計測部門	原田部門長
32	制御部門	千田部門長
33	システム・情報部門	本間部門長
34	システムインテグレーション部門	新井部門長
35	産業応用部門	伊藤部門長
36	ライフエンジニアリング部門	八木部門長
50	支部協議会	業務執行理事 田中(孝)議長、高山副議長
51	北海道支部	梶原支部長
52	東北支部	吉田支部長
53	中部支部	栗屋支部長
54	北陸支部	山西支部長
55	関西支部	大須賀支部長
56	中国支部	呉支部長
57	四国支部	山本支部長
58	九州支部	大屋支部長

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	総務委員会	担当	山田(隆)委員長、藤本副委員長
-----	-------	----	-----------------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・直轄、部門、支部および事務局の業務見直しと効率化の推進</li> <li>・Y60（SICE60 周年記念事業）準備委員会の推進</li> </ul>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>総務委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員決定</li> <li>・開催日時の決定</li> <li>・委員会開催</li> </ul> <p>1)理事会、拡大理事会、社員総会、その他のイベントの開催計画作成（決定は理事会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会開催回数の低減、間隔の均等化、審議必要事項の精査</li> </ul> <p>2)学会運営の円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会運営の効率化</li> <li>・予決算資料の報告内容のまとめ</li> <li>・次年度予算の妥当性確認</li> <li>・課題事項のタイムリーな対応、処理</li> </ul> <p>4) 各委員会、部門および支部の活動フォロー</p> <p>5) 事務局業務の適正化、強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア正職員制度適用職員へのフォロー</li> <li>・事務局員の業務の分析、簡素化</li> <li>・業務分担および業務量の適正化</li> <li>・事務局員とのコミュニケーション向上</li> </ul> <p>6) コンプライアンス報告の仕組み検討</p> <p>7) Y60（SICE 60 周年記念事業）準備委員会の運営</p> <p>8) SICE 規程の整備および改訂</p>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>総務委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会開催</li> </ul> <p>1)理事会、拡大理事会、社員総会、その他のイベントの開催案作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会開催回数の低減、間隔の均等化、審議必要事項の精査</li> </ul> <p>2)学会運営の円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会運営の効率化</li> <li>・予決算資料の報告内容のまとめ</li> <li>・次年度予算の妥当性確認</li> <li>・課題事項のタイムリーな対応、処理</li> </ul> <p>4) 各委員会、部門および支部の活動フォロー</p> <p>5) シニア正職員制度への円滑な移行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア正職員制度適用職員へのフォロー</li> <li>・事務局員の業務の分析、簡素化</li> <li>・業務分担および業務量の適正化</li> <li>・事務局員とのコミュニケーション向上</li> </ul> <p>6) Y60 (SICE 60 周年記念事業) 準備委員会の運営</p> <p>7) SICE 規程の整備および改訂</p>	<p>●7～12 月</p>



## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	企画委員会	担当	榎木委員長（副会長）
-----	-------	----	------------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
付加価値を拡大、提供する（活動したい）領域を探す部門横断による作業部会の発足と推進、並びに計測・制御・システムの学術分野としての参照基準の検討に向けた作業部会の発足と推進

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>委員会開催 委員の決定 委員会開催日の決定 委員会開催 2～3 回</p> <p>1) 学会活動の将来に向けての課題の洗い出しと整理 ・2018 年度拡大理事会で提言された項目のフォロー ・新たな視点での課題の洗い出し</p> <p>2) 企業会員向けサービス向上 WG への継続参加 新しい技術分野へ SICE としてどう貢献するか、部門横断の WG を発足と運営</p> <p>3) 計測・制御・システムの学術分野としての参照基準の検討 WG（SICE 人材像の見直しを含む）を発足と運営</p> <p>4) Vision Produce フォーラムの開催検討</p> <p>5) 拡大理事会準備 ・日時および場所の決定（1 月） ・討議テーマの設定（6 月）</p>	<p>●1～6 月</p>



2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>委員会開催 2～3 回</p> <p>1) 学会活動の将来に向けての課題の洗い出しと整理  <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018 年度拡大理事会で提言された項目のフォロー</li> <li>・新たな視点での課題の洗い出し</li> </ul> </p> <p>2) 企業会員向けサービス向上 WG への継続参加            新しい技術分野へ SICE としてどう貢献するか、部門横断の WG を発足と運営</p> <p>3) 計測・制御・システムの学術分野としての参照基準の検討 WG (SICE 人材像の見直しを含む) を発足と運営</p> <p>4) Vision Produce フォーラムの実施</p> <p>5) 拡大理事会準備および実施  <ul style="list-style-type: none"> <li>・討議テーマ (全体・グループ別) の設定</li> <li>・グループリーダの選定</li> <li>・事前準備、フォロー</li> <li>・実施</li> </ul> </p> <p>5) 2020 年度事業計画、予算計画への落とし込み  <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ討議の整理</li> <li>・各委員会へ依頼</li> <li>・各委員会の事業計画、予算計画の確認</li> </ul> </p> <p>6) SICE ミッションと事業計画の見直し            拡大理事会の議論に基づき次年度計画の見直し</p> <p>7) 次年度、拡大理事会の開催、日程に関する案の作成</p>	<p>●7～12 月</p>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	学会賞委員会	担当	小林委員長（副会長）
-----	--------	----	------------

2019 年度事業計画（本組織担当分）
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 定常業務：規程に従い、各賞（学術奨励賞、学会賞、他団体賞）の選考作業を進める。</li> <li>② AC Award の選考を、AC の実行委員会と連携して確実に行う。</li> <li>③ 学会賞委員会、各部門、各支部が所掌する賞の整理と見直しを進める。</li> <li>④ 選考作業の見直し</li> </ul>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 2018 年度学術奨励賞の選考作業</li> <li>① (他団体賞) 2019 年度油空圧機器技術振興財団論文顕彰への推薦論文選考作業</li> <li>① 2019 年度学会賞（論文賞、技術賞、著述賞、新製品開発賞、教育貢献賞、国際標準化賞）の選考作業</li> <li>① (他団体賞) 2019 年度 FA 財団論文賞への推薦論文選考作業</li> <li>① (他団体賞) 島津科学技術振興財団論文賞への推薦作業</li> <li>① (功績賞選考委員会) 2019 年度功績賞授与候補者選考</li> <li>① (フェロー選考委員会) 2019 年度フェロー称号授与候補者選考</li> <li>② SICE 2019 AC Award 選考作業</li> </ul>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>② SICE 2019 AC Award 選考作業</p> <p>③ 学会賞委員会、各部門、各支部が所掌する賞の整理と見直し</p> <p>④ 各賞の選考作業の見直し</p> <p>① 2019 年度学術奨励賞の選考作業</p> <p>① 2020 年度学会賞（論文賞、技術賞、著述賞、新製品開発賞、教育貢献賞、国際標準化賞）の推薦募集</p>	<p>●7～12 月</p>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	会誌出版委員会	担当	安井委員長, 尾形副委員長
-----	---------	----	---------------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
魅力がありかつ理解しやすい会誌・論文集・刊行物・web コンテンツの発行・充実・向上の継続. 特に OS、WS 開催や会誌発行による、大学、メーカー、ユーザー企業さらに異業種を含む社会への情報発信

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>1. 学会誌特集の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業会員にも魅力的なテーマ選定, キーワード解説の充実 特に分野を超えた読者が理解しやすい基礎編(解説編)の企画</li> <li>・企業研究者/エンジニア, 産業応用大学研究者による産業応用記事のさらなる拡充 ※特集の前半を大学教員メインで解説を含めた執筆を拡充し, 後半に産業応用記事を積極的に掲載.</li> <li>・女性研究者, 若手研究者(40 歳以下)を紹介する連載記事等の新連載記事の検討を継続</li> </ul> <p>2. 新テクノロジーシリーズの企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでのテクノロジーシリーズに代わる新たなシリーズの企画</li> <li>・AI (ディープラーニング) の計測, 制御, ロボティクス応用など</li> </ul> <p>3. 収支改善に向けた学会誌のあり方検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学会誌電子化の検討 (前年度継続検討項目)</li> <li>・適正な会誌価格の検討</li> </ul> <p>4. 表紙デザインの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より魅力的な表紙を可能とするデザイン</li> </ul> <p>5. 電子出版化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去アーカイブ: Vol.52(2013) 半期分</li> <li>・電子出版における著作権・出版権の整理, 雛形契約書の展開 (前年度に終了しなければ継続)</li> </ul> <p>6. より魅力的な会誌を出版するための運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出版委員会への若手/女性研究メンバーの積極的採用</li> <li>・出版委員への企業関係者の更なる採用</li> <li>・事業会員サービス委員会で進める SNS 活性化との連携</li> </ul>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>1.学会誌特集の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業会員にも魅力的なテーマ選定，キーワード解説の充実</li> <li>・企業研究者/エンジニア，産業応用大学研究者による産業応用記事の充実</li> <li>・新連載記事の検討 計測，制御の関わる文化的位置付け（もう少し文系の内容を検討できないか）</li> </ul> <p>2. SICE の企業会員/若手会員増加施策への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SICE AC 2018 におけるワークショップと産業展示とのリンクによる効果の解析と次年度企画の立案</li> <li>・SICE 特集にリンクした SICE セミナーの開催</li> </ul> <p>3.新テクノロジーシリーズの企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでのテクノロジーシリーズに代わる新たなシリーズの編集開始</li> </ul> <p>AI（ディープラーニング）の計測，制御，ロボティクス応用など</p> <p>6. 電子出版化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去アーカイブ：Vol.52(2013) 半期分は上半期で実施</li> </ul> <p>7. より魅力的な会誌を出版するための運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会誌出版委員会への若手/女性研究メンバーの採用等の検討</li> <li>・企業からの委員選出を推進</li> <li>・事業会員サービス委員会で進める SNS 活性化との連携</li> </ul>	<p>●7～12 月</p>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	論文集委員会	担当	早川委員長 山下副委員長 (和)、尾川副委員長 (英)
-----	--------	----	--------------------------------

2019 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文論文集の国際的評価基準 (ESCI、Citation Index 等) 獲得へ向けた活動の継続</li> <li>・和文・英文の両論文誌の位置づけ、編集方針の戦略的見直しによる投稿数拡大</li> </ul>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>1 論文集委員会の開催</p> <p>1-1 Editor の資格要件を見直し (規定改定)、Editorial Board の国際化を図る。</p> <p>1-2 論文投稿、査読、採択、編集の一連の流れの可視化を進め、今後の論文集事業の戦略検討を深める (投稿・査読システムの改善による査読期間の短縮。投稿料の適正化による投稿数の増加。論文名称の見直しなどによるブランド認知力の強化。採択率の最適化による投稿数・掲載数の増加。発刊回数や会誌との統合なども視野に入れた事業コストの最適化。などの提言に対し、具体的な実現可能性について検討し採否を見極める。)</p> <p>1-3 プレプリントサーバーの扱いの検討</p> <p>2 和論誌の発行</p> <p>2-1 特集号の企画促進などを行い、投稿数、掲載論文数の増加をはかる (特に産業系論文の投稿数、掲載数を増加させる施策を進める)。</p> <p>3 JCMSI 誌の発行</p> <p>3-1 論文誌の地位向上のためインパクトファクター取得に向けて編集体制、論文誌の掲載内容など継続的な検討、改善を進める。ESCI の 2019 年度中の申請取得を目指す。</p> <p>3-2 特集号の企画促進などを行い、投稿数、掲載論文数の増加をはかる。</p> <p>4 その他</p> <p>4-1 ORCID 学協会コンソシアムに参画し、和論・英論に ORCID を導入するための準備を進める。</p>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>1 論文集委員会の開催</p> <p>1-1 Editor の資格要件を見直し（規定改定）、Editorial Board の国際化を図る。</p> <p>1-2 論文投稿、査読、採択、編集の一連の流れの可視化を進め、今後の論文集事業の戦略検討を深める（投稿・査読システムの改善による査読期間の短縮。投稿料の適正化による投稿数の増加。論文名称の見直しなどによるブランド認知力の強化。採択率の最適化による投稿数・掲載数の増加。発刊回数や会誌との統合なども視野に入れた事業コストの最適化。などの提言に対し、具体的な実現可能性について検討し採否を見極める。）</p> <p>1-3 プレプリントサーバーの扱いの検討</p> <p>2 和論誌の発行</p> <p>2-1 特集号の企画促進などを行い、投稿数、掲載論文数の増加をはかる（特に産業系論文の投稿数、掲載数を増加させる施策を進める）。</p> <p>3 JCMSI 誌の発行</p> <p>3-1 論文誌の地位向上のためインパクトファクター取得に向けて編集体制、論文誌の掲載内容など継続的な検討、改善を進める。ESCI の2019 年度中の申請取得を目指す。</p> <p>3-2 特集号の企画促進などを行い、投稿数、掲載論文数の増加をはかる。</p> <p>4 論文セミナーの開催</p> <p>4-1 論文セミナーの開催を企画し、実行する。</p> <p>5 論文セミナーの開催</p> <p>5-1 ORCID 学協会コンソシアムに参画し、和論・英論に ORCID を導入するための準備を進める。</p>	<p>●7～12 月</p>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	Annual Conference (AC) 委員会	担当	劉委員長
-----	----------------------------	----	------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 実行委員会とともに SICE2019（広島）を企画・実施、企業向けイベント（日本語併設 WS・展示など）の企画による参加者数増大、SICEWEEK2019 を企画・実施</li> <li>② SICE2020（海外・タイ）、SICE2021（上智大）の企画・準備を実行委員会と進める</li> <li>③ 日本語併設 WS、プレナリー講演の充実による会員サービスと SICE PR の向上</li> <li>④ 海外開催の定例化等、AC の方向性の明確化</li> <li>⑤ AC 参加者のデータベース構築</li> </ul>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① SICE2019 の実施に向けた準備</li> <li>① 論文採択戦略の議論</li> <li>① 開催地の文化や観光情報なども発信するなど、PR 方法の改善・強化を実施</li> <li>① 日本語イベント（WS や企業展示）を企画し、賛助会員へ宣伝、展示は出展勧誘も実施</li> <li>① セッションのプレゼン賞の実施</li> <li>① SICEWEEK2019 の企画・準備</li> <li>② SICE2020 の準備、広報</li> <li>② SICE2021 の準備、組織委員会の決定、SICE60 周年記念事業との連携</li> <li>③ SICE2018（奈良）の実績解析、問題点の把握と改善</li> <li>③ SICE2018（奈良）日本語併設 WS の実績解析に基づき、それを継続するかについて議論</li> <li>③ プレナリー講演の強化による集客効果向上</li> <li>④ 海外での定例開催（3 年ごと）についての議論、</li> <li>⑤ AC 参加者データベースの構築</li> </ul>	<p>●1～6 月</p>



2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① SICE 2019 の実施</li> <li>① セッションのプレゼン賞の選考・表彰</li> <li>① SICEWEEK2019 の実施</li>   <li>② SICE2020 の準備（継続）</li> <li>② SICE2021 の準備（継続）、SICE60 周年記念事業との連携（継続）</li>   <li>③ SICE2019（広島）の実績解析、問題点の把握と改善</li>   <li>④ SICE2023 海外開催地・共催相手の議論（継続）</li>   <li>⑤ AC 参加者データベースの構築（継続）</li> </ul>	<p>●7～12 月</p>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	国際委員会	担当	山田(功)委員長、安藤副委員長
-----	-------	----	-----------------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外学会との交流：共催・協賛・Tec. Co. 締結や会議への代表者派遣による関係強化</li> <li>・Annual Conference を通じた国際連携活動の実施</li> <li>・国際団体・国際会議（IMEKO2021, IROS2022, IFAC2023 等）への協力活動</li> </ul>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p><b>1-1 海外学会との交流</b></p> <p><b>1-1-1 海外学会との共催・協賛、ならびに Technical Co-Sponsorship の締結・推進</b></p> <p>①MOU(自動)更新方法の検討, 更新可否の議論および理事会への報告</p> <p>②韓国 ICROS, 中国 TCCT, タイ ECTI との Tech. Co. を締結</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Tech. Co. 案内発信→受諾受領→IEEE 登録</li> <li>③IEEE 登録</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Tech. Co. 締結と SICE 側 Tech. Co. 登録</li> <li>- IEEE/CSS/RAS/IEC</li> <li>- 韓国 ICROS, 中国 TCCT, タイ ECTI</li> </ul> </ul> <p><b>1-1-2 海外学会・団体への代表者派遣</b></p> <p>①各種国際会議への SICE 派遣代表者決定, 主な派遣先: ECTI-CON (7 月, タイ), CCC (7 月, 中国), ICCAS (9 月, 韓国), MICONEX (9 月, 中国), ICROS-ASCC(9 月), IECON (10 月, ポルトガル), IROS (11 月, マカオ), CDC(12 月, フランス), CACS 2019 等</p> <p>②派遣先との調整 (派遣連絡, 代表者の役割確認, 重要会議出席調整等)</p> <p><b>1-1-3 海外学会・団体との関係強化</b></p> <p>①各種国際会議への SICE AC2019 案内早期発信</p> <p>②新規の関係強化方法, 代表者派遣先, 派遣再開, SICE AC 活性化(海外投稿数増)方法などの検討</p> <p>③IROS への貢献強化, 国内投稿数増等活性化方法の検討</p> <p><b>1-2 Annual Conference を通じた国際活動</b></p> <p><b>1-2-1 SICE AC 2019 対応着手</b></p> <p>①VIP Reception 計画 … 案内文案, 宛先リスト作成着手 (事務局)</p> <p>②Friendship Lunch Meeting 計画 … 案内文案, 宛先着手 (SICE 事務局と協力)</p> <p>ICROS, ECTI, TCCT</p> <p>③STGA 準備 … HP 文案作成・掲載依頼, 審</p>	<p>●1～6 月</p>

査委員選出

### 1-3 国際団体への協力活動

#### 1-3-1 IMEKO 委員会と日本学術会議との連携

①日本学術会議総合工学委員会内 IMEKO 委員会と SICE の IMEKO 委員会連携

- IMEKO 委員会への参加、ならびに

IMEKO2021 に向けた活動支援

- TC 等 IMEKO 関連行事参加支援
- 理事会への代表者派遣
- 計測部門との連携

②IFAC 委員会連携

- IFAC2023 世界大会開催支援（体制助言）
- 準備金等資金的支援方法の検討
- IFAC 関連会議活動広報
- 制御部門との連携

③IROS2022 に向けた活動支援

- IROS2022 実行委員会との連携
- システムインテグレーション部門との連携

### 2-1 SICE の国際プレゼンス向上活動

#### 2-1-1 海外人材育成

①アジア地区他学会カンファレンス支援

- 韓国 ICROS Joint Session 検討着手
- タイ ECTI Joint Session 検討着手

②英文論文誌インパクトファクター獲得

- 調査・獲得手続き継続（SICE 事務局）

③海外人事育成への貢献

- アジア地区人材育成貢献策検討
- 相互インターンシップ等検討

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p><b>1-1 海外学会との交流</b></p> <p><b>1-1-1 海外学会との共催・協賛、ならびに Technical Co-Sponsorship の締結・推進</b></p> <p>①MOU(自動)更新方法の検討, 更新可否の議論および理事会への報告</p> <p>②2019 年の韓国 ICROS, 中国 TCCT, ならびにタイ ECTI との Tech. Co.締結手続き開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Tech. Co. 案内発信→受諾受領→IEEE 登録</li> <li>③IEEE 登録作業着手 (①受諾受領後)</li> <li>- Tech. Co.締結と SICE 側 Tech. Co.登録</li> <li>- IEEE/CSS/RAS/IEC</li> <li>- 韓国 ICROS, 中国 TCCT, タイ ECTI</li> </ul> <p><b>1-1-2 海外学会・団体への代表者派遣</b></p> <p>①各種国際会議への SICE 代表者派遣, 報告書受理・理事会報告, 主な派遣先: ECTI-CON (7 月, タイ), CCC (7 月, 中国), ICCAS (9 月, 韓国), MICONEX (9 月, 中国), IECON (10 月, ポルトガル), IROS (11 月, マカオ), CDC(12 月, フランス), 等</p> <p>②派遣先との調整 (派遣連絡, 代表者の役割確認, 重要会議出席調整等)</p> <p><b>1-1-3 海外学会・団体との関係強化</b></p> <p>①各種国際会議への SICE AC 2019/2020 案内早期発信</p> <p>②新規の関係強化方法, 代表者派遣先, 派遣再開, SICE AC 活性化(海外投稿数増)方法などの検討</p> <p>③IROS への貢献強化, 国内投稿数増等活性化方法の検討</p> <p><b>1-2 Annual Conference を通じた国際活動</b></p> <p><b>1-2-1 SICE AC 2019 対応</b></p> <p>①VIP Reception 実施 … 司会進行</p> <p>②Friendship Lunch Meeting 実施 … 司会進行, 協力関係確認 (SICE 事務局と協力) ICROS, ECTI は必須, TCCT 実施判断</p> <p>③STGA 選考・表彰 … 応募論文整理 (SICE 事務局協力), 選考, Award Ceremony 司会</p> <p><b>1-3 国際団体への協力活動</b></p> <p><b>1-3-1 IMEKO 委員会と日本学術会議との連携</b></p> <p>①日本学術会議総合工学委員会内 IMEKO 委員会と SICE の IMEKO 委員会連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- IMEKO 委員会への参加、ならびに IMEKO2021 に向けた活動支援</li> <li>- TC 等 IMEKO 関連行事参加支援</li> </ul>	<p>●7～12 月</p>

- 理事会への代表者派遣
- 計測部門との連携
- ②IFAC 委員会連携
  - IFAC2023 世界大会開催支援（体制助言）
  - IFAC 関連会議活動広報
  - 制御部門との連携
- ③IROS2022 に向けた活動支援
  - IROS 実行委員会との連携
  - システムインテグレーション部門との連携

## 2-1 SICE の国際プレゼンス向上活動

### 2-1-1 海外人材育成

- ①アジア地区他学会カンファレンス支援
  - 韓国 ICROS Joint Session 検討継続
  - タイ ECTI Joint Session 検討継続
- ②英文論文誌インパクトファクター獲得
  - 調査・獲得手続き継続（SICE 事務局）
- ③海外人事育成への貢献
  - アジア地区人材育成貢献策検討継続
  - 相互インターンシップ等検討

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	国際標準化委員会	担当	榎木委員長（副会長）
-----	----------	----	------------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Society5.0 での SICE の役割明示とそのプロモーションのために、OS、WS 開催や会誌発行による、メーカー、ユーザー企業さらに異業種を含む社会への情報発信</li> <li>・ SICE 2019（広島）での国際化推進イベントの企画</li> </ul>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>委員会開催 2 回以上予定</p> <p>1) SICE 2019（9 月,広島）に向けた OS 企画の策定 （実行、運営は下期） OS 1 件を企画する</p> <p>2) 国際標準化動向の調査 他団体との情報共有など</p> <p>3) 国際標準化関連セミナーの開催検討</p> <p>4) 国際標準化賞の推薦 功績賞と奨励賞の候補者についてその妥当性を評価・審議し、適当と認められた者を学会賞委員会に推薦する。</p>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>委員会開催 2 回以上予定</p> <p>1) SICE 2019 (9 月,広島) に向けた OS の実行、 運営 OS 1 件を企画する</p> <p>2) 国際標準化動向の調査 他団体との情報共有など</p> <p>3) 国際標準化関連セミナーの開催検討</p> <p>4) 国際標準化賞の推薦 上期にて実施</p>	<p>●7～12 月</p>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	事業会員サービス委員会	担当	青田委員長、茂森副委員長
-----	-------------	----	--------------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI, IoT, ビッグデータの発信力強化のためのイベント企画, ならびに, SNS の継続見直しと魅力あるコンテンツの充実</li> <li>・ シニア世代活用による会員サービスの向上策の展開</li> </ul>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>●1～6 月</li> <li>・ 委員会実施</li>   <li>・ ISCIE 連携                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- ステアリング会議(5 月)</li> <li>- SSH 出展準備</li> </ul> </li>   <li>・ 横幹連合連携                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 定時総会(4 月)</li> </ul> </li>   <li>・ 他学会連携                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 他学会行事協賛(随時)</li> </ul> </li>   <li>・ JEMIMA 等工業会との連携                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- JEMIMA-SICE 連携会議(3 月)</li> </ul> </li>   <li>・ 日本学術会議と連携（多分野応用小委員会）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 自動制御連合講演会開催地決定準備</li> </ul> </li>   <li>・ 安全のための計測・制御・システムを考える会の活動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 定期的な会合</li> </ul> </li>   <li>・ 体験セミナー・企業見学会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 年間計画策定(3 月)</li> <li>- 準備, 実施, フォローアップ</li> </ul> </li>   <li>・ 産業応用セミナー(教育・認定委員会と連携)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 実施</li> <li>- フォローアップ</li> </ul> </li>   <li>・ その他友好団体との連携                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 男女共同参画学協会連絡会への参加</li> <li>- 夏の学校出展準備</li> </ul> </li>   <li>・ 会員増強施策の検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 新会員制度の施行</li> <li>- よろず相談窓口設立</li> </ul> </li>   <li>・ SNS コンテンツの拡充フォロー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1～6 月</li> </ul>



2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>●7～12 月</li> <li>・委員会実施</li>   <li>・ISCIE 連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 講習会等の企画段階からの情報交換</li> <li>- SSH 出展(8 月)</li> <li>- ステアリング会議(11 月)</li> </ul> </li>   <li>・横幹連合連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>-</li> </ul> </li>   <li>・他学会連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 他学会行事協賛(随時)</li> </ul> </li>   <li>・JEMIMA 等工業会との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 計測展 2019 東京(11 月)</li> </ul> </li>   <li>・日本学術会議と連携 (多分野応用小委員会) <ul style="list-style-type: none"> <li>- 自動制御連合講演会開催地決定</li> <li>- 2020 年開催の準備</li> </ul> </li>   <li>・安全のための計測・制御・システムを考える会の活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 定期的な会合開催・講演会開催</li> </ul> </li>   <li>・体験セミナー・企業見学会 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 準備, 実施, フォローアップ</li> </ul> </li>   <li>・産業応用セミナー(教育・認定委員会と連携) <ul style="list-style-type: none"> <li>- 実施</li> <li>- フォローアップ</li> </ul> </li>   <li>・その他友好団体との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 男女共同参画学協会連絡会への参加</li> <li>- 夏の学校出展(8 月)</li> </ul> </li>   <li>・会員増強施策の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 新会員制度の施行</li> <li>- よろず相談窓口検討</li> </ul> </li>   <li>・SNS コンテンツの拡充フォロー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●7～12 月</li> </ul>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	教育・認定委員会	担当	橋本委員長
-----	----------	----	-------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
部門及び支部が持つ知識・技術の活用による、基礎的、実務的な講座や講演会の開催

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>1. 計測制御エンジニア資格</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WG 会合 (3, 5 月)</li> <li>・試験問題の改訂</li> <li>・関東 (本部), 北海道, 九州各支部での実施の日程 場所の確定・準備</li> <li>・実施支部の検討</li> <li>・受験者増対策の検討, 受験者勧誘 学生受講者のインセンティブとして事業会員サ 委員会と連携して「産業応用セミナー」を実施す る</li> </ul> <p>2. プロセス塾</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロセス新塾 2018 スクーリング (3 月・第 5 回目)</li> <li>・プロセス新塾 2019 スクーリング (6 月・第 1 回目)</li> <li>・WG 会合</li> <li>・教育内容を検討 (通年)</li> <li>・次の 3 カ年計画の検討</li> </ul> <p>3. CPD ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイント集計と表彰者決定</li> </ul> <p>4. JABEE</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集 (通年)</li> <li>・審査支援 (通年)</li> </ul> <p>5. 新教育プログラム事業計画検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業エンジニアの学び直しの場の提供</li> <li>・AI/IoT/ビッグデータ塾 (仮称) を企画</li> <li>・高等教育機関への学び直しの新たな場</li> </ul>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>1. 計測制御エンジニア資格</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WG 会合(7, 9 月)</li> <li>・関東 (本部), 北海道, 九州各支部で試験実施 (10 月～12 月)</li> <li>・北海道講師選定</li> <li>・遠隔面接準備</li> <li>・受験者増施策を実施</li> </ul> <p>2. プロセス塾</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロセス新塾スクーリング (第 2,3,4 回) 実施</li> <li>・WG 会合</li> <li>・教育内容を検討 (通年)</li> </ul> <p>3. CPD ポイント 表彰式・賞状授与</p> <p>4. JABEE</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集 (通年)</li> <li>・審査支援 (通年)</li> </ul> <p>5. 新教育プログラム事業計画検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業エンジニアの学び直しの場の提供</li> <li>・AI/IoT/ビッグデータ塾 (仮称) を企画</li> <li>・高等教育機関への学び直しの新たな場</li> </ul>	<p>●7～12 月</p>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	部門協議会	担当	藤田議長、田中(仁)副議長
-----	-------	----	---------------

2019 年度事業計画（本組織担当分）
<p>部門・支部の連携強化・活性化を継続し、Society5.0 等の中長期的社会ニーズに応える網羅的部門活動を展開する。その一環として、広報活動など発信力強化について協議する。合わせて、会員数増大に向けた準備として、会員情報 DB の整備に関する協議を行う。支部との連携強化に関しては、部門大会において連携を継続するとともに、合同講演会について協議する。また部門活動校の見直しを含む部門活性化方策、および部門運営負荷の把握とその効率化について協議する。</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p><u>1. 部門活動の促進サポート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3 回の部門協議会を開催</li> </ul> <p><u>2. 支部協議会との連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支部協議会への参加と情報共有</li> <li>・合同の協議会を開催し合同講演会開催の検討</li> <li>・イベント DB 構築と試用</li> </ul> <p><u>3. 企画委員会などとの連携強化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務委員会、企画委員会に参加し、内容を部門へ報告</li> </ul> <p><u>4. 部門活性化方策の検討と活動の広報の見直し</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員情報 DB 整備に向けた、部門ごとの名簿の整理</li> <li>・各 WG と専門委員会の活動状況把握</li> <li>・企業会員向けサービス WG の立ち位置検討</li> </ul> <p><u>5. 部門運営の負荷の把握および効率化の検討</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部門における活動の把握</li> </ul>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p><u>1. 部門活動の促進サポート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 回の部門協議会を開催</li> </ul> <p><u>2. 支部協議会との連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合同の協議会を開催し合同講演会開催の検討</li> </ul> <p><u>3. 企画委員会などとの連携強化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財務員会、企画委員会に参加し、内容を部門へ報告</li> </ul> <p><u>4. 部門活性化方策の検討と活動の広報の見直し</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発信力強化に関して、部門協議会で議論</li> <li>・ 会員情報 DB 整備の方向性について協議</li> </ul> <p><u>5. AC 活性化、OS 企画・貢献</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各部門で個別実施</li> </ul> <p><u>6. 部門運営の負荷の把握および効率化の検討</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上期の協議結果を踏まえて、2019 年度の計画を立案</li> </ul>	<p>●7～12 月</p>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	計測部門	担当	原田部門長
-----	------	----	-------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支部再編に向けた意向調査に基づく協議と部門へのインセンティブルールの見直し</li> <li>・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による、メーカー、サービス、ユーザ企業さらに異業種を含む社会への情報発信</li> <li>・ 部門と支部を中心とした会員情報 DB の整備による会員管理及び 会員数拡大</li> <li>・ IMEKO2021 開催に向けた国際委員会との連携推進</li> </ul>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>2 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 先端電子計測部会 講演会</li> <li>- 第 107 回力学量計測部会行事: 力学量計測部会講演会・見学会</li> <li>-</li> </ul> <p>3 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- パターン計測部会共同企画・動的画像処理実利用化ワークショップ(DIA2019)</li> <li>- 第 44 回リモートセンシングシンポジウム</li> <li>- 第 148 回温度計測部会温度計測部会見学会</li> </ul> <p>5 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 第 103 回パターン計測部会研究会</li> <li>- 第 64 回日本リモートセンシング学術講演会での SICE 共同セッション (リモートセンシング部会)</li> </ul> <p>6 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 第 107 回力学量計測部会運営委員会</li> <li>- 第 108 回部会行事: 有機微量分析合同シンポジウム (力学量計測部会)</li> </ul>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>8 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- パターン計測部会協賛、画像の認識・理解シンポジウム(MIRU2019)</li> <li>- 第 36 回センシングフォーラム</li> </ul> <p>11 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 第 24 回パターン計測シンポジウム</li> <li>- 第 149 回温度計測部会講演会</li> <li>- 計測展ミニレクチャ</li> <li>- SensorExpo 展示</li> <li>- スマートセンシングシステム部会 研究会 (電子情報通信学会と併催)</li> <li>- 第 109 回部会行事: 力学量計測部会 計量史をさぐる会</li> <li>- APMF2019 アジア太平洋力学量計測フォーラム (力学量計測部会)</li> <li>-</li> </ul> <p>12 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- パターン計測部会共同企画・ビジョン技術の実利用ワークショップ ViEW 2019</li> <li>- 第 108 回力学量計測部会運営委員会</li> <li>-</li> </ul>	<p>●7～12 月</p>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	制御部門	担当	千田部門長
-----	------	----	-------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Society5.0 での SICE の役割明示とそのプロモーションのために、OS、WS 開催や会誌発行による、メーカー、ユーザー企業さらに異業種を含む社会への情報発信</li> <li>・ 会員、イベント(内容、参加者)の情報を広く活用できる DB の検討と整備</li> <li>・ IFAC2023 開催に向けた国際委員会との連携推進</li> </ul>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>—第 6 回制御部門マルチシンポジウム (MSCS2019) 開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SICE International Symposium on Control Systems 2019</li> <li>・ 第 47 回 制御理論シンポジウム</li> <li>・ 第 10 回 プラントモデリングシンポジウム</li> <li>・ 第 19 回 適応学習制御シンポジウム</li> <li>・ 第 36 回 誘導制御シンポジウム</li> <li>・ 第 5 回 システム構築と制御技術シンポジウム</li> </ul> <p>—MSCS における産業応用部門との Joint OS の開催</p> <p>—部門賞贈呈式</p> <p>—第 1 回制御部門運営委員会開催</p> <p>—各委員会・部会・調査研究会の運営委員会・研究会・講演会・見学会・セミナーなどの実施</p>	<p>●1～6 月</p>



2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－第 2 回制御部門運営委員会開催</li> <li>－第 7 回制御部門マルチシンポジウム (MSCS2020)の企画・検討・準備</li> <li>－部門賞の選考</li> <li>－産業応用部門大会における Joint OS の開催</li> <li>－第 3 回制御部門運営委員会開催</li> <li>－各委員会・部会・調査研究会の運営委員会・研究会・講演会・見学会・セミナーなどの実施</li> </ul>	<p>●7～12 月</p>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	システム・情報部門	担当	本間部門長
-----	-----------	----	-------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支部再編に向けた意向調査に基づく協議と部門へのインセンティブルールの見直し</li> <li>・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による、メーカー、サービス、ユーザ企業さらに異業種を含む社会への情報発信</li> <li>・ 部門と支部を中心とした会員情報 DB の整備による会員管理及び会員数拡大</li> </ul>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部門大会における部会・研究会とのシンポジウム共催の検討</li> <li>・ 部門大会の実行委員会などの組織化・開催準備</li> <li>・ 部会シンポジウムなどの開催（適宜、部門間ならびに部門内での連携・協調の可能性・有効性を模索）</li> <li>・ 部門賞選考プロセス（表彰委員会の構成・発表賞の選考）の点検・見直し</li> <li>・ 部門大会特集号の論文募集・査読プロセス管理・採録論文決定</li> <li>・ 活動計画実施状況のレビューと PDCA による評価・見直しのねらい・ポイントの再確認・明確化</li> <li>・ 部会・研究会の決算報告や部門予算管理におけるインセンティブの運用方策・方式について検討</li> </ul> <p>1 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－第 31 回自律分散システム・シンポジウム</li> </ul> <p>2 月</p> <p>3 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－第 60 回システム工学部会研究会</li> <li>－第 46 回知能システム・シンポジウム</li> <li>－第 65 回離散事象システム研究会</li> <li>－第 18 回社会システム部会研究会</li> <li>－関係論的システムデザイン調査研究会例会</li> <li>－第 22 回 SW 調査研究会</li> <li>－分子ロボティクス年次大会</li> </ul> <p>4 月</p> <p>5 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－分子ロボティクス月例研究会</li> <li>－第 23 回 SW 調査研究会</li> </ul> <p>6 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－第 64 回自律分散システム部会研究会</li> <li>－第 15 回 CI 研究会</li> <li>－第 19 回社会システム部会研究会</li> <li>－＊量子情報処理研究会</li> </ul>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部門大会の実行委員会などの組織化・開催準備</li> <li>・ 部会シンポジウムなどの開催（適宜、部門間ならびに部門内での連携・協調の可能性・有効性を模索）</li> <li>・ 部門賞選考・贈呈</li> <li>・ 部門大会特集号の論文募集・査読プロセス管理・採録論文決定</li> <li>・ 活動計画実施状況のレビューと PDCA による評価・見直しのねらい・ポイントの再確認・明確化</li> <li>・ 部会・研究会の決算報告や部門予算管理におけるインセンティブの運用方策・方式について検討</li> </ul> <p>7 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－分子ロボティクス月例研究会</li> <li>－第 24 回 SW 調査研究会</li> </ul> <p>8 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－第 25 回創発システム・シンポジウム</li> <li>－第 20 回社会システム部会研究会（合同研究会）</li> <li>－BIOMOD 国内大会</li> </ul> <p>9 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－CI フォーラム（合同研究会）</li> <li>－第 66 回離散事象システム研究会（合同研究会）</li> <li>－関係論的システムデザイン調査研究会例会</li> <li>－創発システム・シンポジウム</li> </ul> <p>10 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－第 25 回 SW 調査研究会</li> <li>－先端コンピューティクス研究会</li> <li>－第 2 回分子ロボット倫理国際会議</li> </ul> <p>11 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－賢さの先端研究会</li> <li>－第 65 回自律分散システム部会研究会</li> <li>－CI フォーラム</li> <li>－部門学術講演会（SSI2019）</li> <li>－人工知能学会合同研究会（人工知能学会分子生物情報研究会共催）</li> <li>－自律分散システム部会研究会</li> </ul> <p>12 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－第 16 回 CI 研究会</li> <li>－第 26 回 SW 調査研究会</li> <li>－分子ロボティクス月例研究会</li> <li>－自律分散システム部会研究会</li> </ul>	<p>●7～12 月</p>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	システムインテグレーション部門	担当	新井部門長
-----	-----------------	----	-------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Society5.0 での SICE の役割明示とそのプロモーションのために、OS、WS 開催や会誌発行による、メーカー、ユーザー企業さらに異業種を含む社会への情報発信</li> <li>・ 会員、イベント(内容、参加者)の情報を広く活用できる DB の検討と整備</li> </ul>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部門運営委員会（幹事団）による前年度計画した部会活動の実施と状況把握、および予算書・企画書等の事務手続きの着実な実施のフォロー</li> <li>・ 部門運営委員会(幹事団)での部会行事や部門講演会の支部連携の検討と推奨の実施</li> <li>・ 新年度体制・各種情報等の着実な HP 更新</li> <li>・ 広報情報委員（HP 担当）による行事の情報発信の継続</li> <li>・ 部会の各種情報等の HP 更新</li> <li>・ SICE の HP での部門・部会活動の積極的な広報</li> <li>・ 防災学術連携体への情報提供</li> <li>・ システムインテグレーションに関する新しい技術分野の開拓（新調査研究委員会の立ち上げ）</li> <li>・ SI2018 会計処理/優秀講演選考のフォロー</li> <li>・ SII2018 会計処理/優秀講演選考のフォロー</li> <li>・ SI2019 運営企画のフォロー</li> <li>・ SI2020 に向けた実行委員長の運営組織立上げフォロー</li> <li>・ SI2021 に向けた実行委員長の運営組織立上げフォロー</li> <li>・ SII2020 開催に向けた SII Steering Committee の運営フォローと SII2021 以降の開催地、実行委員長選定、企画運営のフォロー</li> <li>・ 特定費用準備資金による IROS 事業支援</li> <li>・ 表彰委員会組織化</li> <li>・ 部門賞募集と選定</li> <li>・ FA 財団賞ノミネート</li> <li>・ 運営委員会の部門協議会に合わせた開催</li> <li>・ 第 1 回運営委員会（1 月 7 日予定）</li> <li>・ 第 2 回運営委員会（1 月 28 日～2 月 1 日：メール審議）</li> <li>・ 第 3 回運営委員会（3 月：メール審議）</li> <li>・ 第 4 回運営委員会（6 月）</li> </ul>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部門運営委員会（幹事団）による前年度計画した部会活動の実施と状況把握と予算書・企画書等の事務手続きの着実な実施のフォロー</li> <li>・部門運営委員会(幹事団)での部会行事・部門講演会での支部との連携検討と推奨の実施</li> <li>・広報委員(HP 担当)による行事の継続的な情報発信</li> <li>・部会の各種情報等の HP 継続的な更新</li> <li>・システムインテグレーションに関する新しい技術分野の継続的な開拓（新調査研究委員会の立ち上げ）</li> <li>・表彰委員会による部門賞選定と部門学術講演会における贈賞</li> <li>・レスキューロボットコンテスト</li> <li>・RT ミドルウェアコンテスト</li> <li>・SI2019 企画と実施のフォロー</li> <li>・SI2020 運営企画のフォロー</li> <li>・SI2021 の実行委員長の運営組織立上げフォロー</li> <li>・SI2022 の開催地と実行委員長の決定</li> <li>・SI2020 開催に向けた SII Steering Committee の運営フォロー</li> <li>・SII2021 開催に向けた SII Steering Committee の運営フォローと実行委員長の運営組織立上げフォロー</li> <li>・SII2022 開催に向けた SII Steering Committee の運営フォロー</li> <li>・2020 年度体制の決定と予算策定の実施</li> <li>・特定費用準備資金による IROS 事業支援</li> <li>・第 5 回運営委員会（8 月：メール審議）</li> <li>・第 6 回運営委員会（9 月）</li> <li>・第 7 回運営委員会（10 月：メール審議）</li> <li>・第 8 回運営委員会（11 月：メール審議）</li> <li>・第 9 回運営委員会（12 月）</li> </ul>	<p>●7～12 月</p>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	産業応用部門	担当	伊藤部門長
-----	--------	----	-------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支部再編に向けた意向調査に基づく協議と部門へのインセンティブルールの見直し</li> <li>・ 新たな付加価値領域を探すための部門横断による作業部会の推進</li> <li>・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による、メーカ、サービス、ユーザ企業さらに異業種を含む社会への情報発信</li> <li>・ 部門と支部を中心とした会員情報 DB の整備による会員管理及び 会員数拡大</li> </ul>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部門運営委員会                新年度運営体制構築                部門大会企画準備                部門の在り方の議論を実施</li> <li>・ 制御部門マルチシンポジウムとの連携の企画・実施</li> <li>・ 産業応用分野に関する他部門との連携行事の検討</li> <li>・ 産業応用部門大会における制御部門 OS およびその他合同企画の調整と依頼</li> <li>・ 部門賞候補者推薦募集会告発信</li> <li>・ 各部会主催行事の準備・実施</li> <li>・ 各委員会の実施</li> </ul>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部門運営委員会          部門大会の企画確認、各種広報          部門大会の実施          次年度部門大会での OS 連携に向けた企画調整</li> <li>・SICEAC におけるスペシャルセッションや関連 OS の運営・実施</li> <li>・産業応用部門大会の実施          流体計測制御シンポジウム          流体計測ネットワークシンポジウム          計測制御エンジニア会総会</li> <li>・部門賞候補者推薦締切、審査・決定、表彰の実施</li> <li>・各部会主催行事の準備・実施</li> <li>・各委員会の実施</li> </ul>	<p>●7～12 月</p>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	ライフエンジニアリング部門	担当	八木部門長
-----	---------------	----	-------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支部再編に向けた意向調査に基づく協議と部門へのインセンティブルールの見直し</li> <li>・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による、メーカ、サービス、ユーザ企業さらに異業種を含む社会への情報発信</li> <li>・ 部門と支部を中心とした会員情報 DB の整備による会員管理及び 会員数拡大</li> </ul>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電気生理運動学部会において、研究会を実施する。</li> <li>2. 日本生体医工学会, 電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会等と合同で生体医工学に関する講演会を実施する。</li> <li>3. 統合情報生物工学部会において、研究会を実施する。</li> <li>4. 前, 現, 次期, 次次期部門長会議により, 中期ビジョンが達成できる組織運営を築く。</li> <li>5. 部門・部会合同運営委員会を実施することにより, 効率的な管理体制を構築し, 財務体質の健全化を図る。</li> <li>6. 部門・部会のイベント開催や諸事業の収益構造の改善を通じて部門の財務体質の健全化を図る。</li> </ol>	<p>●1～6 月</p>



2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ライフエンジニアリング部門シンポジウム／生体・生理工学シンポジウムを部門主導のもと、全部会の協力で実施する。</li> <li>2. ライフエンジニアリング分野の若手研究者の研究を奨励するため、ライフエンジニアリング部門シンポジウム発表者の中から、優秀な研究者を選抜し、研究奨励賞を授与する。</li> <li>3. 日本生体医工学会、電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会等と合同で大学院生、若手研究者を対象に、生体医工学に関するサマースクールを実施する。</li> <li>4. ユビキタスヘルスケア部会において、研究会を実施する。</li> <li>5. 共同研究を促進するため、広くシーズ説明会などの連携セミナーを開催する。</li> <li>6. 上期に引き続き、前、現、次期、次次期部門長会議により、中期ビジョンが達成できる組織運営を築く。</li> <li>7. 上期に引き続き、部門・部会合同運営委員会を実施することにより、効率的な管理体制を構築し、財務体質の健全化を図る。</li> <li>8. 上期に引き続き、部門・部会のイベント開催や諸事業の収益構造の改善を通じて部門の財務体質の健全化を図る。</li> </ol>	<p>●7～12 月</p>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	支部協議会	担当	田中(孝)議長, 高山副議長
-----	-------	----	----------------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支部再編に向けた意向調査に基づく協議</li> <li>・ Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による、メーカ、サービス、ユーザ企業さらに異業種を含む社会への情報発信</li> <li>・ 部門と支部を中心とした会員情報 DB の整備による会員管理及び会員数拡大</li> </ul>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>2 月 支部協議会準備会 (Web 会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各支部の新体制の確認</li> <li>・ 支部現況に関する情報共有</li> <li>・ 支部再編における支部構成や地区委員会の在り方に関する検討</li> <li>・ 各支部事業計画の確認と特徴的イベント・セミナー等の内容確認, およびマニュアル化・パッケージ化への取り組みに関する情報共有と他支部への展開可能性に関する情報共有</li> <li>・ 行事 DB に基づく, 部門行事との連携可能性に関する情報共有</li> <li>・ 地域企業等との連携方法(講演会や講習会)に関する情報共有</li> <li>・ SICE- AC2019 への企画, 投稿の呼び掛け</li> </ul> <p>3 月 部門・支部合同会議 (北海道大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近未来における SICE トレンド予測</li> <li>・ 部門, 支部, 産業, 地域の連携に関する議論</li> <li>・ 部門体制, 支部体制の再編に関する議論</li> <li>・ 部門・支部を横断する産学リエゾン組織の設置</li> <li>・ 会員情報 DB 整備と活用方法に関する議論</li> </ul> <p>4 月 第 1 回支部協議会 (SICE 事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支部再編における支部構成や地区委員会の在り方, 運営組織体制に関する情報共有</li> <li>・ マニュアル化・パッケージ化された講習会・セミナー等行事の他支部への展開依頼</li> <li>・ 計測制御エンジニア試験の継続・新規実施の働き掛け</li> <li>・ 行事 DB に基づく, 部門との連携行事に関する実施検討依頼</li> <li>・ 支部-学生-地元企業を結び付けられる行事に関する情報共有</li> </ul>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>7 月 第 2 回支部協議会 (Web 会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支部再編における支部構成や地区委員会, それら運営組織体制の具体的検討</li> <li>・ 部門・支部連携行事に関する検討</li> <li>・ マニュアル化・パッケージ化された講習会・セミナー等行事の他支部での実施検討依頼</li> <li>・ 支部・学生・地元企業を結び付ける行事に関する実施検討依頼</li> <li>・ 拡大理事会への提言の取りまとめ</li> <li>・ SICE AC2019 への参加促進</li> </ul> <p>9 月 第 3 回支部協議会 (SICE AC 会場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拡大理事会を受けての議論</li> <li>・ 支部再編における支部構成や地区委員会, それら運営組織体制の具体的検討</li> <li>・ 次年度事業計画の立案に関する議論</li> </ul> <p>9 月 部門・支部合同会議 (SICE AC 会場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部門との連携・協力体制に関する確認</li> </ul>	<p>●7～12 月</p>



## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	東北支部	担当	吉田支部長
-----	------	----	-------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<p>支部活動に関する情報共有と円滑な運営を図ることを目的とし、総会 1 回，専門委員会 7 回を開催する。支部内における研究者間の学术交流を活性化させるため，各県の大学・高専が持ち回りで計 7 回の研究集会を開催する。学会への学生勧誘策の一環として，研究発表奨励賞の授与を行う。また，適宜共催事業・協賛事業を実施することで，学会員の枠を超えて広く社会に向けた支部活動の発信，および貢献を行う。</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>東北支部総会（1 月）</p> <p>東北支部研究集会（第 321 回～323 回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 321 回 2 月，東北大学</li> <li>・第 322 回 5 月，岩手大学</li> <li>・第 323 回 6 月，八戸工業大学</li> </ul> <p>特別講演会（2 月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 321 回研究集会と同時開催</li> </ul> <p>東北支部優秀発表奨励賞（各研究集会ごと）</p> <p>【協賛事業】学都仙台・宮城サイエンス・デイ 2019</p> <p>東北支部専門委員会（第 1 回～第 4 回）</p>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>東北支部研究集会（第 324 回～第 327 回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 324 回 7 月，秋田大学</li> <li>・第 325 回 9 月，山形大学</li> <li>・第 326 回 11 月，会津大学</li> <li>・第 327 回 12 月，東北大学</li> </ul> <p>東北支部優秀発表奨励賞（各研究集会ごと）</p> <p>東北支部 55 周年記念学術講演会（12 月開催の研究集会を拡大して開催）</p> <p>【共催事業】電気自動車エコラン競技大会（8 月）</p> <p>東北支部特別賞（エコラン競技大会）</p> <p>【協賛事業】中学生のための CG プログラミング講座（12 月）</p> <p>東北支部専門委員会（第 5 回～第 7 回）</p> <p>東北支部運営委委員・顧問・専門委員合同委員会（12 月）</p>	<p>●7～12 月</p>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	中部支部	担当	栗屋支部長
-----	------	----	-------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支部主催講習会の継続とパッケージ化の推進による収益への貢献</li> <li>・ 支部主催行事を通じた産官学の交流強化</li> <li>・ 中部支部 50 周年記念事業の実施</li> <li>・ 支部再編に向けた協議、および、インセンティブルール検討の継続</li> </ul>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>(1 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支部会議</li> <li>・ 特別講演会</li> <li>・ 支部賞表彰</li> <li>・ 第 1 回運営委員会・事業委員会</li> </ul> <p>(2 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 50 期学業優秀賞審査</li> </ul> <p>(3 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 50 期学業優秀賞表彰</li> </ul> <p>(4 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 2 回運営委員会・事業委員会</li> </ul> <p>(5 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有料講習会 1</li> </ul> <p>(1～6 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支部研究委員会事業</li> </ul>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>(7 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 3 回運営委員会・事業委員会</li> </ul> <p>(9 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中部支部シンポジウム</li> </ul> <p>(10 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中部支部 50 周年記念事業</li> <li>・ 見学会</li> <li>・ 第 50 期支部賞審査</li> </ul> <p>(11 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有料講習会 2</li> <li>・ 若手研究発表会</li> <li>・ 第 4 回運営委員会・事業委員会</li> <li>・ 顧問会議</li> </ul> <p>(7～12 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支部研究委員会事業</li> </ul>	<p>●7～12 月</p>



## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	北陸支部	担当	山西支部長
-----	------	----	-------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<p>[1] 支部会議やメーリングリストを活用し、支部再編に向けた意向調査を随時実施するとともに、支部へのインセンティブルールについて広く意見を収集する。</p> <p>[2] Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、会員および市民向けの主催／共催講演会を開催するとともに、産学官連携行事にブースを出展し、社会へ情報発信する。</p> <p>[3] 支部協議会と連絡を密にし、整備された DB にイベント情報が反映される仕組みを検討する。また、優れた若手会員に対し表彰を実施し、会員数の増加に取り組む。</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <p>1 月 新旧合同運営委員会、支部会議、特別講演会</p> <p>3/1 優秀学生賞の募集・表彰</p> <p>3/2 日本機械学会北陸信越支部 第 56 期総会・講演会（共催）</p> <p>3/2 平成 30 年度 北陸地区学生による研究発表会（共催）</p> <p>4 月～5 月 第 1 回運営委員会</p> <p>6 月～ 計測自動制御学会北陸支部 優秀論文発表賞の募集</p> <p>6 月～ 計測自動制御学会北陸支部 SICE Annual Conference 若手奨励賞の募集</p> <p>6 月 第 2 回運営委員会（メール審議）</p>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>8 月 北陸支部講演会の開催</p> <p>9 月 電気関係学会北陸支部連合講演会の主催</p> <p>9 月 北陸支部講演会（兼 JHES 支部招待講演）の開催</p> <p>9 月 第 3 回運営委員会の開催</p> <p>9 月 優秀論文賞の表彰</p> <p>9 月 SICE AC 学生参加奨励賞の表彰</p> <p>11 月 北陸先端大主催の産学官連携行事 (Matching HUB) に参加</p> <p>11 月 北陸支部講演会の開催</p> <p>11 月 第 4 回運営委員会の開催（メール審議）</p> <p>12 月 日本生体医工学会北陸支部講演会（共催）</p>	<p>●7～12 月</p>





## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	四国支部	担当	山本支部長
-----	------	----	-------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<p>[1] 支部会議やメールングリストを活用し、支部再編に向けた意向調査を随時実施するとともに、支部へのインセンティブルールについて広く意見を収集する。</p> <p>[2] Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、会員および市民向けの主催／共催講演会を開催するとともに、産学官連携行事にブースを出展し、社会へ情報発信する。</p> <p>[3] 支部協議会と連絡を密にし、整備された DB にイベント情報が反映される仕組みを検討する。また、優れた若手会員に対し表彰を実施し、会員数の増加に取り組む。</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>支部会議</u> 1 月中、愛媛大学にて開催 議題：支部再編に関して</li> <li>2. <u>第 1 回支部運営委員会</u> 1 月中、愛媛大学にて開催</li> <li>3. <u>第 1 回支部学術講演会実行委員会</u> 5 月中、メール会議</li> <li>4. <u>第 1 回電気関係学会四国支部連合大会実行委員会</u> 5 月中に開催</li> </ol>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <p>5. <u>第 2 回電気関係学会四国支部連合大会実行委員会</u> 8 月中、メール会議</p> <p>6. <u>第 2 回支部学術講演会実行委員会</u> 9 月中、メール会議</p> <p>7. <u>電気関係学会四国支部連合大会 (SICE 四国支部共催)</u> 9 月中に開催</p> <p>8. <u>支部学術講演会</u> 12 月中、高知工業高等専門学校にて開催 ※優秀な若手発表者に対し表彰を行う。</p> <p>9. <u>第 2 回支部運営委員会</u> 12 月中、高知工業高等専門学校にて開催</p> <p>10. <u>第 3 回電気関係学会四国支部連合大会実行委員会</u> 11 月中に開催</p> <p>11. <u>SMART2019 大会</u> 協賛金を支給</p>	<p>●7～12 月</p>

## 2019 年度事業計画・実施報告

組織名	九州支部	担当	大屋支部長
-----	------	----	-------

2019 年度事業計画（主な重点施策）本組織担当分
<p>[1] 支部会議を活用し、支部へのインセンティブルールについて広く意見を収集する。</p> <p>[2] Society5.0 における SICE の役割明示とそのプロモーションのために、会員および市民向けの主催／共催講演会を開催する。</p> <p>[3] 支部協議会と連絡を密にし、整備された DB にイベント情報が反映される仕組みを検討する。また、優れた若手会員に対する表彰方法を検討し、会員数の増加に取り組む。</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●1～6 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 31 年度九州支部第 1 回運営委員会(新旧合同)</li> <li>・九州支部第 49 期支部顧問会議（新旧合同）</li> <li>・九州支部第 49 期支部会議</li> <li>・支部奨励賞表彰</li>   <li>・平成 31 年度九州支部第 2 回運営委員会</li>   <li>・研究会</li> <li>・講演会</li> <li>・連携団体，組織，学会との協賛事業</li> </ul>	<p>●1～6 月</p>

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>●7～12 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SICE 九州フォーラム</li> <li>・ 平成 31 年度九州支部第 1 回事業委員会</li> <li>・ 平成 31 年度九州支部第 3 回運営委員会</li> <li>・ 第 38 回九州支部学術講演会 (特別講演会と学生発表交流会を併設)</li> <li>・ 国際会議 ICTROBOT2018 の韓国 ICROS との共催. (釜山)</li> <li>・ 平成 31 年度九州支部第 2 回事業委員会</li> <li>・ 計測制御エンジニア資格試験</li> <li>・ 研究会</li> <li>・ 講演会</li> <li>・ 連携団体, 組織, 学会との協賛事業</li> </ul>	<p>●7～12 月</p>